

その他の土石製品製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故 の 型	労働者 の 規 模
2017	1	7~8	故障車（大型ダンプ）を大型セルフ車に積み込み作業中、ハンドルを直すため右手でハンドルを掴みタイヤホイールに足を掛け、運転席に乗り込もうとした時、掛けていた足が滑り、右手だけでぶら下がる状態になってしまった。	47	221	19	1~9
2017	1	13~14	石製品を運ぶため、屋外で、パレットに手作業で、製品を積む作業をしていた。製品には部分的に雪が凍りついていた物もあったため、パレットに移す際に、手が滑ってしまい石と石の間に手を挟んでしまった。	42	523	7	1~9
2017	1	16~17	石材工場で、石材を切削機で切断後、移動させようと切削機台車から降りる際、足を滑らせて転倒し、左手を置いてあった別の石材にぶつけてしまった。その時は大した痛みもなかったが、徐々に痛みが増し腫れもでてきた。	53	362	1	1~9
2017	1	10~11	当社工場内において、製品のケトルが吊り下がって移動するレーンがケトルの色ごとに何箇所かある中で、ケトルの中間処理作業をしていた。製品の間隔が空いたため、作業していた隣のレーンの準備をしようとする際、たまたま隣から引っ張ってきて使用していたエアホースが床から少し浮いた状態であった事に気付かず、エアホースに足を引っかけて転倒し、床で両膝を強打した。	57	379	2	30~49
			二次クラッシャーに入る為、ナットを緩める作業中、ナットが緩ま				

2017	1	13~ 14	ない為大ハンマーで40cmスパナを叩こうとし、スパナに当たらず近くの角に当たり、ハネ返って人差し指に当たった。原因は短いスパナを叩こうとした為であり、再発防止策として、長いスパナやパイプを使用するように指導する。	45	364	6	~ 29
2017	1	16~ 17	自社工場内車庫にてミキサー車の清掃作業中、ミキサー車ドラム本体とガイドローラーの間に清掃中の雑巾が巻きこまれ、同時に左手も巻きこまれ、左手中指と薬指を負傷した。	61	221	7	~ 29
2017	1	3~4	塗型作業場でアルコール塗型作業中に、アルコール着火者が製品台車を移動中だった為、本来行わない着火作業を行い、背面に火が付いた事に気付かず、塗型作業に戻った。背面に異常を感じた時にはすでに衣服が燃えていて、火傷を負った。	25	391	11	1~ 9
2017	2	11~12	弊社工場内で、コンクリート塊破碎作業をし、重機から降りる時に足元が滑り、足をねじり受傷した。	68	142	19	1~ 9
2017	2	9~10	工場内にて、鉄柱（直径14cm・高さ20cm・重さ約9kg）を手（軍手着用）で持って、5cm角程に固まっている粉末材料を、手に持った鉄柱で上から押しつぶして細かくする作業を二人で向かい合っていていた際、固まっている材料を向の人の近くから自分の手元へ移動しようとした時に、向かいの人が鉄柱で材料を押そうとした下へ、自分の左手の中指第一関節と薬指の先が入ってしまい、中指第一関節を骨折し、薬指の先の骨にひびが入ったものである。	37	379	7	30 ~ 49
2017	2	7~8	現場へ行こうと軽自動車のエンジンをかけようとした。フロントガラスが凍っていて、暖機運転しようとした。左足でクラッチを踏み、右足を地面につけ座らず不安定な状態でキーをまわした。その時、ギヤを確認せず、ギヤが一速に入っていて徐行した。右後タイヤに右足を踏まれた。	47	221	7	10 ~ 29
2017	2	11~12	墓地で巻石の撤去工事中、全体の延石を外していた時に側面の延石が当たっていて動かなかった後面の延石が、側面の延石を動かそうとした時に、倒れてきて、足を挟んだ。	62	523	5	1~ 9

2017	2	16~17	下り線を帰社のため貨物積載状態のトラックにて90km/hで走行中、帰社後の仕事の段取りを考えながら運転していたために前方トラックへの接近に気付くのが遅れ衝突してしまい、自社トラックが大破し、右足を3カ所骨折した。	37	221	17	50 ~ 99
2017	2	14~15	断熱材を流しビニールシートで包装する際、カットの刃が下りカットが半分位で離れていなかったので手を入れて引っ張り離そうとしたところ断熱材を押さえる機械が下り指を挟まれた。	49	169	7	10 ~ 29
2017	2	11~12	路面の悪い傾斜地に足場板を敷いて下ってきて、押していたキャタピラ式の運搬車を右に方向転換しようとしたところキャタピラが右に方向転換しようとしたところキャタピラが右に傾き運転者の補助をしていた被災者がキャタピラに巻き込まれ、キャタピラと共に転倒し、負傷した。	40	362	6	—
2017	3	16~17	震災による墓地修復作業で移動式クレーン現場用を使用中に、碑石の上台を吊り降し取付け時にクランプの吸盤が滑り、上台が落下して右手を挟んだ。	31	372	4	1~ 9
2017	3	17~18	現場事務所から事務所にタイムカードを押しに向かう際、側溝のグレーチングが100mm~150mm開いている所で左足をとられ転倒した。	60	416	2	10 ~ 29
2017	3	7~8	工場内において、試験室前にあったテストピース（コンクリート製、直径10cm・長さ20cm・重量約4kg）を移動しようとしたところ手から滑り落ち、右足親指に当たり剥離骨折した。	60	372	4	1~ 9
2017	3	16~17	作業場内にて中子への塗型作業中、中子（直径30cm×厚み3cm）を両手で持ち塗料層の中に漬け込み、後方の焼き付けていた中子の隣へ並べ置いたところ、中子の炎が右手手袋（ナイロン製）に燃え移り、右手を負傷した。	37	529	11	10 ~ 29
2017	3	9~10	コンクリート破碎作業のためタイヤショベルに乗り込もうとした際に、雨のため手がドアを開けようとしたところ、滑ってドアと車体	70	225	7	1~ 9

			に挟まれ右手首を骨折した。				
2017	3	16~17	破砕部での清掃・片付け作業中に、コンベア上部で運搬された泥が計量器で規定量に達した為、コンベアが一旦停止した時にコンベア下部で作業を行っていた際にコンベアが動き出し、左腕を巻き込まれて受傷した。	63	224	7	10 ~ 29
2017	4	16~17	作業中、ピアノ線を切断時、手がすべりサンダーにふれ（左手の甲）負傷した。	44	159	8	1~ 9
2017	4	16~17	所内にて作業中、ピアノ線を固定しているバンドを切断中に、ピアノ線がアゴにあたり負傷した。	21	529	6	1~ 9
2017	4	17~18	工場内の洗車場の分級機のスイッチのある所の下に穴があり、その穴で右足を滑らし、体重がうしろにかかり、瞬間的に右足を捻ってにぶい音がした。	32	416	19	1~ 9
2017	4	21~22	S-4成型機にて生産終了後、翌日生産の準備で金型表面にはまっている樹脂製模型を模型の穴にマイナスドライバーを差し込んで外す作業をしていた際、マイナスドライバーが穴から外れ滑った為、金型を持っていた右手親指付け根付近に刺さった。	40	364	19	100 ~ 299
2017	4	17~18	黒鉛坩堝加工職場において、硬度のある坩堝を継続して手鋸で切断する作業に長年従事した事により、左手に痺れを生じた。	66	921	19	50 ~ 99
2017	4	13~14	水元の水源地で、工場への水が来なくなった為、コンクリートの水槽の水を抜き、円形の排水バルブを最後まで一人で閉められないので、3cmぐらいの鉄棒をバルブの中に挿し込み、てこの原理で閉めていたら、鉄棒の足元が外れ、頭部に当たった。	51	521	4	10 ~ 29
2017	5	9~10	境内にて墓石解体作業中、カートクレーンを現場に移動するためバックして方向転換し、直進クラッチに変更しようとした時にエクスパンドメタルで覆われた側溝柵の一辺に2~3cmの段差があり、バウンドしたため直進クラッチに変更出来ず、後進したまま墓の門柱	68	212	7	1~ 9

			とカートクレーンに挟まれ、下腹部を圧迫し、恥骨を骨折した。				
2017	5	13～ 14	墓所参道にて石材を運搬作業中、前方確認作業（業務）の為、運搬機の前方を歩行中に積荷が気になり運搬機に近付き過ぎて、運搬機が左足の甲に乗り上げてしまい、被災者が後方に転倒し、運搬機は脛まで走行して停車した。	48	229	7	1～ 9
2017	5	8～9	工場内修理のためフォークリフトの先に吊り金具をつけて、H鋼材（長さ4.5m、重量100kg位）を持ち上げて工場内に移動中、開口が狭く入れられないため、被災者がH鋼材を押して方向転換しようとした時、吊り金具が完全にはまっていなかった為か、H鋼材が被災者の右足の上に落ち指4本を骨折した。	43	222	4	1～ 9
2017	5	15～ 16	工場へ配送後、空きコンテナにシートを掛けていて、足下をよく見ていなかったのが荷台から落ちて左肘と右踵を負傷した。	44	221	1	50 ～ 99
2017	5	13～ 14	地上より3.3mに設置されているふるい機下部に詰りがあると思い左手にハンマーを持ち、機械を叩いていたが左手でふるい機上部を掴もうとしたところ、間違ってふるい機上のベルトに手が当たってしまった。ベルトには安全カバーが無かった為、ベルトとプーリーに手が挟まれて、手の中指の一部を損傷してしまった。	53	121	7	10 ～ 29
2017	6	16～ 17	ボール盤を使用し、ダイヤモンドホイールの台金部分に取り付け穴をあけていたところ、ダイヤモンドホイールがドリルに食い付き、回されたので止めようとして左手でダイヤモンドホイールを押さえた時に、ダイヤモンドホイールの外周部分に親指が当たり損傷した。	39	152	8	30 ～ 49
2017	6	15～ 16	自社トラックの車検を行っている会社で、クレーン故障箇所を説明するためトラックの荷台に上がり、説明しようとタイヤに足を掛け乗ったところ、ブレーキが利いておらず、ぐるっと回転して自分の右足で左足の指を踏んで蹴ってしまった。	66	221	1	1～ 9
							50

2017	6	8～9	荷下ろしの為、コンテナ車両の荷台に上がった際、足を滑らせ荷台から転倒し、床面に転落した。その際、右膝を強打し負傷した。	49	221	1	～ 99
2017	6	12～ 13	当工場内壁のペンキ塗り作業中、脚立から（下から4段目位の所）落下して（1m位）、左足首を骨折したものである。	76	371	1	10 ～ 29
2017	6	14～ 15	台の上に乗し、壁を清掃していた。作業を終え、降りる時に足を滑らせ左足をぶつけた。台の上には、ブルーシートが敷かれていた。	61	371	2	1～ 9
2017	6	11～ 12	自社プラント内洗車場にて、タンク車の上に乗って作業をしていた。タンク車上部にある鉄の蓋を開けて作業していたところ、後部にある栓を閉める為、上部蓋を閉めたが、閉まりきっておらず開いた。その際、開いた蓋が腰に当たり、車両から落ちた。体のあちこちをぶつけながらも、下に落ちる前に右手で車両を掴み、地面への落下は防いだが、右腕等を負傷した。	51	221	1	10 ～ 29
2017	6	10～ 11	寺の境内において、墓石の据え付け作業をしていたところ、段差（1m程）の高さから飛び降りて着地した時に、左足首の皮がめくれ上がって痛くなった。	51	417	3	1～ 9
2017	6	15～ 16	砥石工場焼成工程にて、台車（手動パレット運搬車）で製品を運搬中に立ち止まり、A作業者と立ち話中に、B作業者が隣で他の製品を運搬しようと台車操作中で、台車と台車が接触した。台車が自分の方へ移動し車輪が左足に触れたので、反射的に避けようとして足首を捻った時、左足が車輪に当たり打撲した。	50	379	19	100 ～ 299
2017	6	11～ 12	当日、工場施設において、プラントの機械補修作業で、鉄板（1600mm×350mm×30mm）をバーナーで切断する際、完全に切れなかったので、ハンマーでたたいて切り落とそうとした時、手が滑り自分の右足を打って負傷したものである。	48	379	90	1～ 9
2017	6	10～ 11	資材倉庫で居宅現場に石材搬入する際、取り付け段取り時、木の梱包から2人作業で石材を取り出した時に、バランスを崩して木枠のク	48	529	8	1～ 9

			ギ（約7cm）が右足太股に刺さった。				
2017	6	15～ 16	マイカ置き場に置いているマイカ原鉱の入った20kg近い箱（400mm×500mm×310mm）を、台車に移し替えて段積みしている時、腰に違和感が生じた。その後、作業を中断し30分程休憩したが、段々と痛みが強くなった。	41	921	19	100 ～ 299
2017	7	12～13	工場内で砂型（中子）を製造する機械で作業中、製品製造が完了し製品を取り出したところ、金型内へブローチップ（吹き込み口）が落ちてしまい、落ちたブローチップを拾うため金型へ手を入れたところ、どのようなスイッチ操作をしたか不明だが、型が閉まり左手親指を挟んだ。	52	169	7	10 ～ 29
2017	7	11～12	設備の監視中、機械より異音が生じ確認のため近寄った所突然冷却用ホースが外れ70～80°の高温水を左顔面及び左目に浴び受傷。立入禁止エリア等ではなく通常の監視業務中に発生。設備不良が原因と思われる。	44	163	11	300 ～ 499
2017	7	14～15	会社で処理した、土を建設残土処理場において摘んだ処理済み土を下している途中、ダンプアップをした時に、右後輪が地面に沈み、そのままバランスを崩し運転席側から横転しその際右肩を打ち関節挫傷した。	45	221	2	1～ 9
2017	7	9～10	被災者は、サンプル採取のために、開いた窓に近づいた。左足に体重を掛けた際左足が滑り窓枠に左脇腹を強打し被災した。	54	212	6	10 ～ 29
2017	7	8～9	馬を洗うため、洗い場に馬を繋ごうとした際、馬が飛び出しそのまま引きずられ右肩にヒビが入った。	42	362	7	50 ～ 99
2017	7	13～14	墓石営業のため自動車にて走行していたところ、十字路に於いて、自車優先道路を直進走行中、左方より右折してきた相手車両と接触後、反動で対向車線に出て、対向車線走行中の相手車両とも接触し全身を打撲、両下腿に擦過傷を負った。	20	231	17	10 ～ 29

2017	7	16~17	工場内にて、原料の砂10~15kgの入ったプラスチック製の箱を作業場から処分場所までの約15mの距離を運ぶ際に床に散乱していた砂で足を滑らせ前のめりに転倒した。起き上がろうとした時に腰から左足にかけて痛みを覚えたが、その後、通常通り勤務を継続した。後日、痛みが激しくなり、左坐骨神経痛と診断された。	37	417	2	1~9
2017	7	9~10	原料倉庫内の集塵機上部にて、濾布点検を行うために扉を開放する作業で、扉開放固定具にて重い扉を開き止める際、側方の手摺が扉に干渉し、固定具が使用できなかった。左手で扉を支えていたが重さを支えきれず、手を放し退避したが、閉じてきた扉で右手の甲を挟まれ骨折した。	51	391	7	50~99
2017	7	14~15	被災者は作業の段取りを習得するため、指導者より災害事例の説明後、指導者の下で練習作業をしていた。一連の動きの中で、振れ止めを移動させる作業で、本人の不注意から、説明されていた手を入れてはいけない部分へ左手を入れ移動させたため、小指を挟み込み、切断した。	56	151	7	100~299
2017	7	9~10	工場土場にて、フォークリフトで荷役作業後、リフトを停止し下車するときに、脇見をしていたためステップ以外の所に足を乗せてしまい、体勢を崩して横向きに転倒した。その際、受け身をとっていなかったため、コンクリート面で腰を負傷した。	59	222	1	10~29
2017	7	8~9	社命による応援業務のため、関連会社に行き、作業を開始した。生コン積み込みプラントの下辺りを歩いていたとき、足を滑らせて尻もちをつき、手に持っていたフランプ用板（生コンの強度を調べる道具、横60cm、縦60cm、厚さ3.2mm）が、右脇横に当たり負傷した。痛みはあったが休むことなく、市販の薬を服用していたが、一向に痛みが引かず、増々強くなり寝ることも出来なくなったので受診したところ、肋骨骨折と診断され、休業となった。	56	417	2	30~49
2017	7	13~	食堂の前で、板状の石をクレーンで移動させているとき、その石が	35	611	7	10~

		14	割れて手で押さえようとして挟まれた。					29
2017	7	6～7	生産準備中、抄紙機シリンダー内部に毛玉状の異物を発見し、機械を停止せずにシリンダー内に右手を入れ、異物を除去中にベアリングとシリンダーの間に右腕上部が巻き込まれた。	55	121	7		100 ～ 299
2017	7	16～ 17	事業所加工場にて、次の作業場へ向かって歩いていたところ、微鉄粉が床に飛散している環境で、体の後ろにある右足を前に出そうとして蹴り上げようとしたときに、滑って右足を後方に持っていかれたので、体勢を戻そうとしたが、手よりも先に左膝から落ちて左膝蓋骨を骨折した。	60	417	2		1～ 9
2017	7	8～9	当社開発部作業場において、不織布に樹脂を含浸させる機械の作業準備段階で、機械のローラーに布を巻く作業があり、巻き終えた後で確認したところ、布にシワがあった。シワを取ろうとして手を当ててしまい、指先が引き込まれて負傷した。	44	163	7		30 ～ 49
2017	9	10～ 11	敷地内の操作室で休憩中に服（長そでポロシャツ）に付着したグリスをパーツクリーナー（エタノール系スプレー）で落としたあと、タバコを吸おうとしてライターの火をつけた時に引火した。着衣を脱ごうとしたが、時間がかかったため、火傷になった、側にあったペットボトルの水（2?×2本）で消火しようとしたが、なかなか消えなかった。	49	911	16		30 ～ 49
2017	9	8～9	本社工場、モルタル製造現場にて、モルタル骨材でメトロースを扱うため、会社から作業用手袋を支給していたところ、従来のものに替えて、ディスポ手袋（天然ゴム極うす手袋Lサイズ粉付）を着用して作業していたところ、両手が赤く腫れ、かゆみが生じ、乾燥してカサカサになり、皮膚がボロボロになって皮が剥がれてきたため、受診した。	31	514	12		30 ～ 49
2017	9	15～	製砂プラントのプレス機で開砕中に泥を落とす作業をしていたところ、開砕装置に上着のスゾが引っ掛かりバランスをくずし倒れそう	45	162	7		10 ～

		16	になったので、手をついたところ開栓装置にはさまれ左手甲を圧迫され負傷した。					29
2017	10	7~8	原料を混練りする設備（ミキサー）において製造品種切替停止の際、内部の掃除を行っていた。内部回転体（ローター）に異物がかみこんでおり回転負荷が高かったため、除去する為に手でローターを押していたところ、急に負荷が軽くなりローターとフタに指を挟まれ中指（右手第一関節）が切断された。	39	162	8	~	99
2017	10	8~9	本社工場2F、研削盤の加工作業場でワークの脱着作業をしている際、ワークのはめ込みが不十分だったため、電源を切らずに取り外そうとした際、右手甲が砥石に接触し切り傷を負った。	25	153	8	—	
2017	10	19~20	DS（目詰まり防止剤塗布工程）繰り出し部での作業中、安全カバーの持ち手部分のボルトが外れていることに気づき、安全カバーを開け、回転体の下にボルトがあることを確認する。低速で回転しているため大丈夫だと判断し、左手でボルトを取ろうとした際に、挟まれ事故が発生した。	25	169	7	~	100 299
2017	10	14~15	古い墓石の撤去のため重量約1tの石材を移動式カニクレーンで後方の石垣に傾けて倒そうとしていたところ、クレーンで吊っていた石がかたむいてブランコ状態になり、クレーンが浮いて戻ってきた吊っている石と下の石との間に左足先が挟まれて負傷した。左足甲（指付近）が腫れている。	45	523	7	1~	9
2017	10	10~11	工場に生コンを引き取りに行き、生コン車洗車中に車止め（高さ20cm）に足を取られて、転がり左足首を骨折。	63	419	2	~	10 29
2017	11	6~7	骨材のストックヤードから下りた時、そこが凍っていたため、バランスを崩し転倒した。	59	719	2	~	10 29
			第2工場コントロール成型場第2ロール機にて専用の温度計でロール温度を計測する際、左手をロール上部の乗せてしまいロールに巻き					30

2017	11	7~8	込まれ、2本のロールの間に左手を挟まれた。本人が非常停止操作を行ったが間に合わず親指、人差し指、中指切断等に至ってしまった。但し治療中のため負傷の状況は確定していない。	25	163	7	~ 49
2017	11	14~ 15	工場内で空になったパイプ台車を折りたたんで保管場所に移動させていた際に、パイプ台車が前方に倒れ同時に本人も転倒した。	31	362	2	50 ~ 99
2017	11	15~ 16	第一工場1Fバリ切り場で、ディスクグラインダーを両手で持って製品を切断加工中、製品を切り込んだ際にチップソーの刃が撥ねた衝撃でディスクグラインダーが手から離れ、左手の指（人差し指・中指・薬指）を負傷した。	52	131	8	50 ~ 99
2017	12	13~14	生コンを指定された先に届けた処、元請の現場責任者から、生コン車の上部ホッパー口より一斗缶の不凍液を投入する様に指示され、足場等もなく、片手で手摺を握りながら、ステップを登っている時、一斗缶の重量に耐えられず転落し、脱落した一斗缶に脇腹を強打し、脇骨を打ち、落下の際スネも損傷した。当日は降雪の為、身体も寒い為冷えており、バランスを崩しやすい状態であった。	72	221	1	1~ 9
2017	12	10~11	社内構内において、ミキサー車から降りる際、シートベルトを外して、ドアを開け飛び降りた際に、左手小指がシートベルトに引っかかり、負傷した事故である。（後日の受診にて骨折が判明した。）	52	221	3	10 ~ 29
2017	12	11~12	当事業所リサイクル工場において、手袋をして家屋解体後の廃材を分別していた。マンホールの蓋を持ち上げたところ、手が滑り左足親指に落ちてけがをした。痛かったが安全靴を履いていたので大丈夫かと思い、夕方までがまんしたが痛みがひかず、医療機関にかかった。	39	521	4	1~ 9
2017	12	8~9	年末掃除の為、破碎機修繕後の片付作業の際、坂道に10tトラックを止め、車止めを装着する為トラックより降りた。荷積込作業が終了し、車止めをはずしトラックに乗ろうとして、付属の手つかみを左手が掴みそこね、体勢を崩し、坂道の横の斜面（2~3m）に落下し	68	221	1	1~ 9

			てしまった。				
2017	12	9~10	成型トロンメルの手入れの点検作業中に、休憩するために成型操作室に向かった。石膏を抜くために作業床を退かした所を通行しようとしたとき、段差とミキサー移動用のレールが下にあった。段差とレールがあるのは分かっていたので、レールを避けて降りたつもりが、レール固定板の上に右足がかかり、足を捻って被災した。	30	417	19	50 ～ 99
2017	12	8~9	成型のヘコ付NC旋盤で、朝一番の試運転をするときに、Z軸の値に0を入力するのを忘れた。このため、試運転時に、チャックが回転した状態で、刃物台がチャックに近づいていく際、刃物台が止まらず、回転するチャックにぶつかり、刃物台が飛んできて足に当たった。	41	151	4	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html